

鷹の爪団

行け!

ODA



鷹の爪団が解説する

ODA 読本 2022 5巻

オーディーエー

©DLE

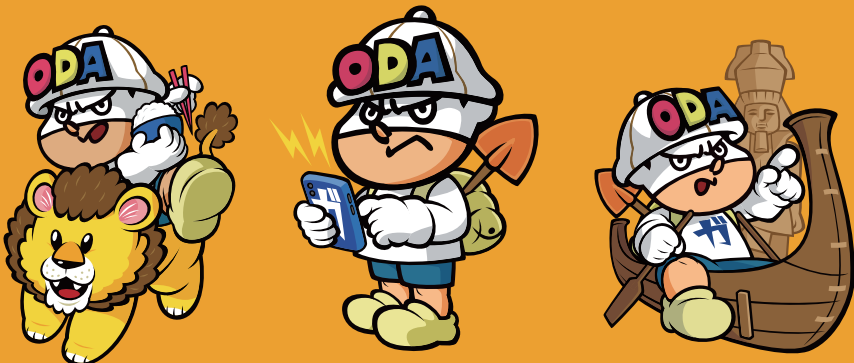


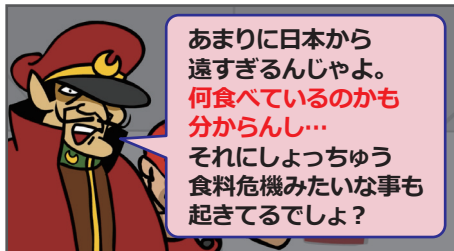
はじめに

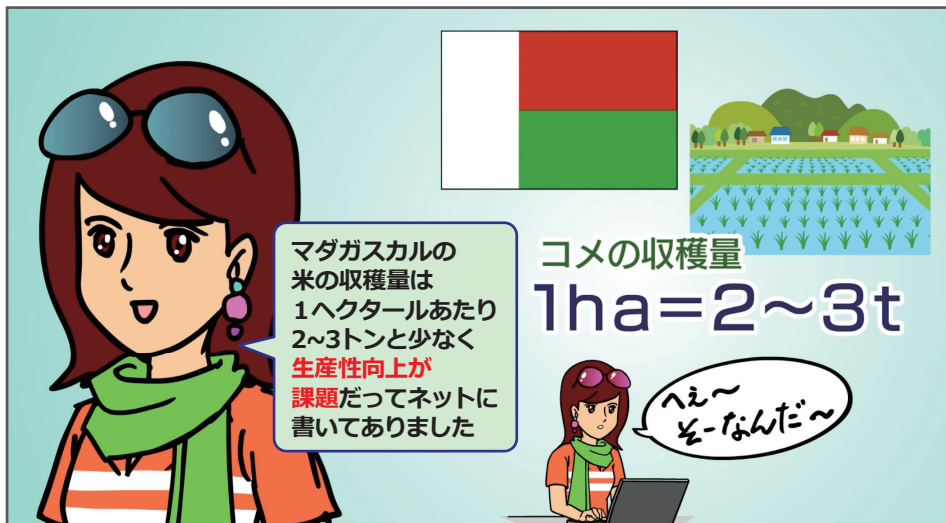
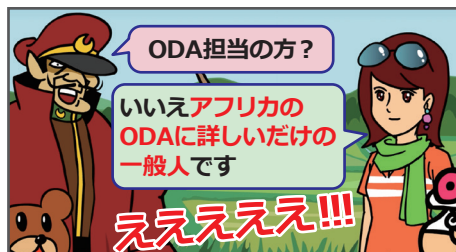
みなさん、こんにちは！「ODAマン」です。
鷹の爪団が解説する「ODA読本」もなんと5巻目！
今回は、「アフリカ」ですよ「アフリカ」！
注目度は高いものの、**遠すぎてなじみのないアフリカ大陸。**
でも、日本のODAはアフリカでもすごく頑張っています！

日本は**重要な外交ツールであるODA**を通じて、
開発途上国の抱える課題の解決に貢献し、
良好な二国間関係を築いているんです！

米作りにICT、遺跡や遺物の保護にまでODA！
今回も、どんな物語が展開されるか乞うご期待です！
最後まで何卒よろしくお願いしますよ！







コメの年間収穫量



1ha=2~3t 1ha=5.3t

半分

日本は令和3年度で全国平均で5.3トンなので日本の約半分ですね

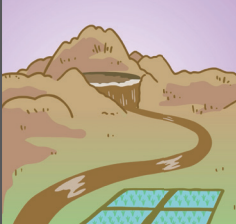
サイクロンや干ばつで生産量が安定しないことに加えて

干ばつ

サイクロン



水源となる上流域の森林が荒廃し土砂が河川やかんがい灌漑用水に流れ込み

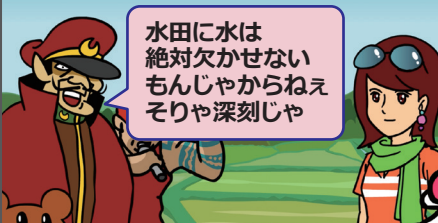


農業用水の管理を難しくしているって…ネットに…

もうネットって言わんでいいから



水田に水は絶対欠かせないもんじゃからねえそりゃ深刻じゃ



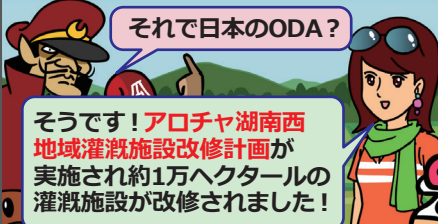
マダガスカル アロチャ湖

アロチャ湖周辺はマダガスカル最大の米の生産地で約50年前に作られた灌漑施設が老朽化土砂の流入で安定的な水の供給が難しくなっています



それで日本のODA?

そうです! **アロチャ湖南西地域灌漑施設改修計画**が実施され約1万ヘクタールの灌漑施設が改修されました!



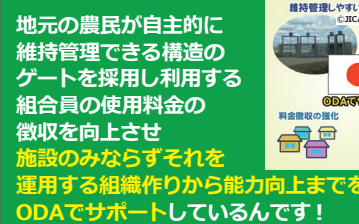
地元の農民が自主的に維持管理できる構造のゲートを採用し利用する組合員の使用料金の徴収を向上させ施設のみならずそれを運用する組織作りから能力向上までをODAでサポートしているんです!

維持管理しやすいゲートを採用 © JICA

料金徴収の強化 © JICA

灌漑作りと能力向上 © JICA

ODAでサポート



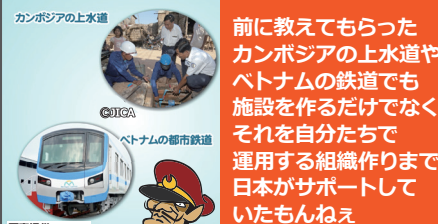
カンボジアの上水道

前に教えてもらったカンボジアの上水道やベトナムの鉄道でも施設を作るだけでなくそれを自分たちで運用する組織作りまで日本がサポートしていたもんねえ

© JICA

ベトナムの都市鉄道

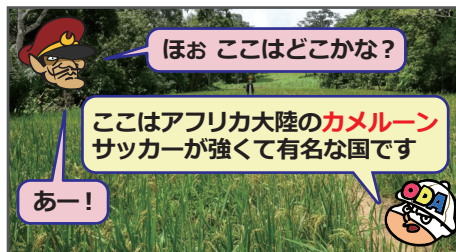
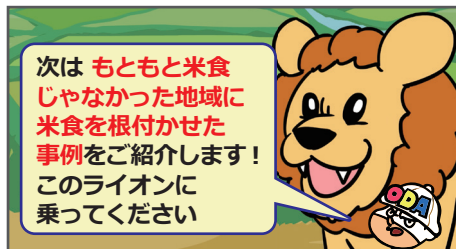
写真提供: MAUR

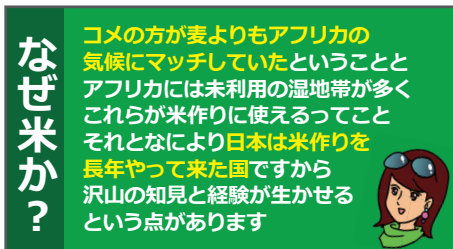
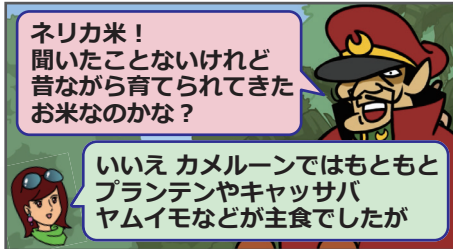
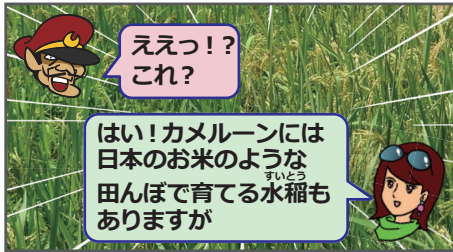


これによって**4300戸もの農家**がその恩恵にあずかることが期待されてるんです

美味しいお米を安定的にお腹いっぱい!







水が不十分な地域には
適さない



でもマダガスカルほど
水が潤沢にない地域を
抱えるアフリカの
国々では水稲は
適さない



そこで『アフリカ稲センター』では日本の支援に
よって陸稲のネリカ米を開発したんです

ネリカ米は
収穫量の多い
アジア稲と病気に
強いアフリカ稲の
交配によって
生み出された
んですよ



収穫量の多い
アジア稲

病気に強い
アフリカ稲

ネリカ稲

水稲の方が収穫量
が多いというメリットは
ありますがその分水の
管理が必要になったり
そもそも稲作に慣れて
いない人々には陸稲の方が育て
やすいというメリットがあります



	陸稲	水稲
収穫量	△	○
水の管理	○	△
育てやすさ	○	△

雨が少なければ
水が少なくても育つ
品種を開発すれば
いいのか



お！せっかく育てた稲を
ドラム缶で叩いておる



あれは脱穀しているんです

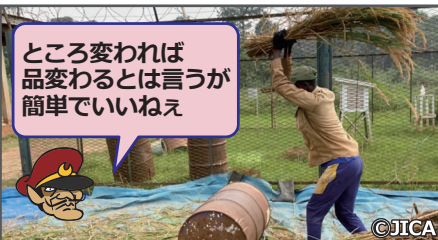


©JICA

陸稲は稲が落ちやすく
あぁやってドラム缶に
叩きつけるだけで
脱穀できるんです



ところ変われば
品変わるとは言うが
簡単でいいねえ



©JICA



アフリカ稲作振興のための共同体

CARD

日本では『アフリカ稲作
振興のための共同体・カード
(CARD)』を立ち上げ
アフリカの米生産量を
倍増することを目的に

CARD参加国の稲作振興戦略策定の
支援を行っているからです



フェーズ1 2008～2018	フェーズ2 2019～2030
1,400万t → 2,800万t	2,800万t → 5,600万t

2019年から2030年までにさらに
倍増することを目標にしているんです



@JICA
日本での稲作の様子

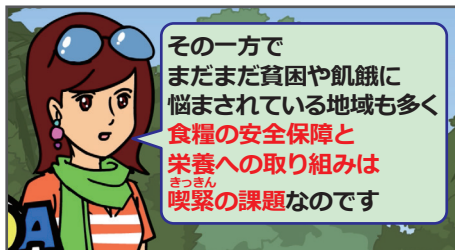
その国で培われた
技術と知見で、
日本ならではの
“痒いところに手が
とどく”支援をして
いる訳か



近年アフリカでは急速な
都市化が進み経済成長も
目を見張るものがあります
さらに豊富な天然資源を擁し
潜在的なポテンシャルの
高さから21世紀最大のフロンティアと
言われて期待が高まっているんですよ

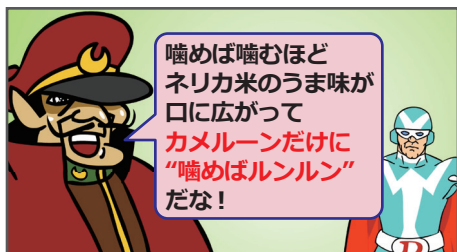
21世紀最大の
フロンティア

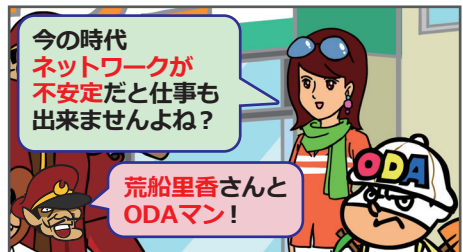
急速な都市化
高経済成長
豊富な天然資源

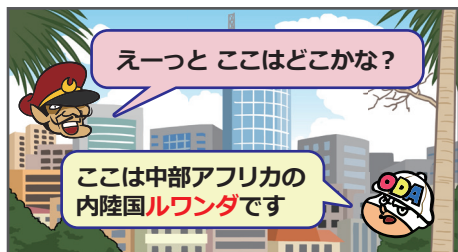


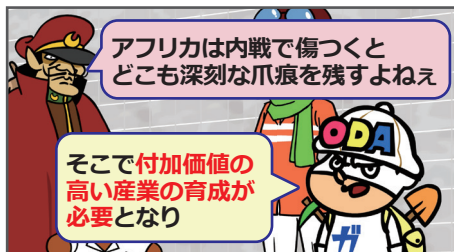
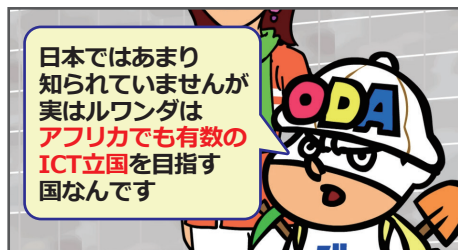
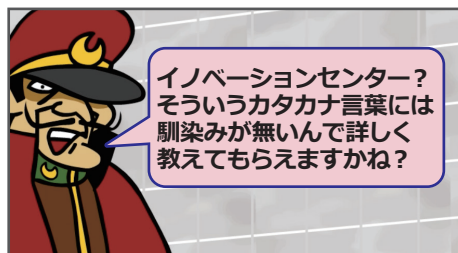
お腹いっぱい食べられる
ことがすべての生命の
基本じゃ
相変わらず日本のODAは
人に地球に優しいねえ
ぬう…
わしも腹が減って来たわい

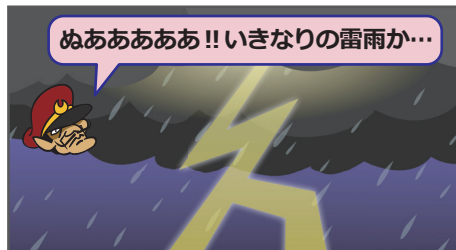
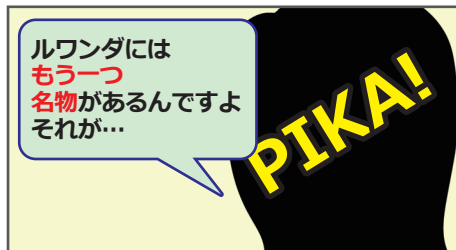
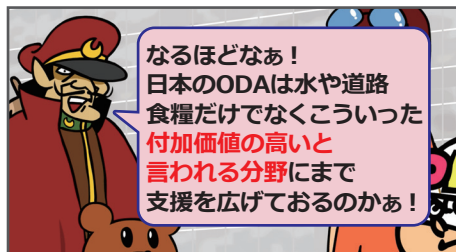
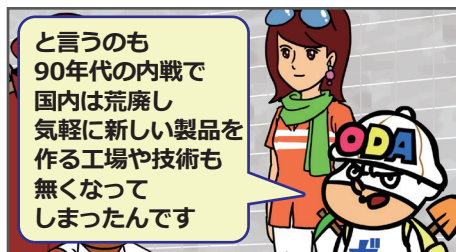
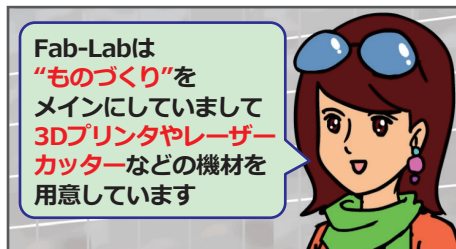
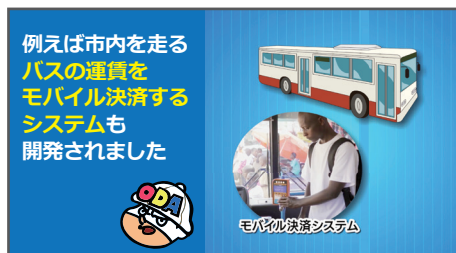
GUUUU...

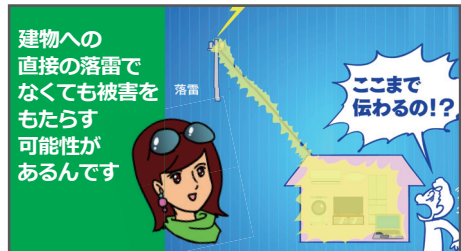












これらの装置を
ルワンダで設置
しているのが
音羽電機工業で
日本で唯一の
雷対策一筋の
スペシャリスト
なんですよ！

音羽電機工業

兵庫県にある雷対策の
スペシャリスト



音羽電機工業は
第一期の
ABEイニシアティブで
来日したルワンダの
学生アミリさんを
受け入れました



彼がきっかけでルワンダの雷被害に
ついて知り実際に現地を訪れ



アミリさん

雷対策に乗り
出したんです



現地を訪問

また雷被害対策を
現地の方へ教える
技術支援も
しています



日本での研修の様子



おおっ！
前にも出てきてたね
ABEイニシアティブ！



簡単に言うとアフリカと
日本の民間企業を橋渡しして

ABEイニシアティブとは？



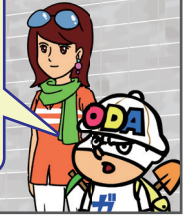
アフリカの発展とこの先の日本とアフリカのビジネスを
盛り上げる若い人材を育てるODAのことで

詳しくは過去の
ODAマン動画
アフリカビジネスで
Win-Winの巻を
ご覧ください



YouTubeで公開中!!

その後JICAなどの
サポートを受けながら
**雷による通信機器や
人的被害の対策に
乗り出しビジネスを
拡げているんです**



しかし
日本とアフリカでは
いろいろ勝手が違って
大変なんじゃろうね

そうなんです

ルワンダは
2021年3月時点で
携帯電話の普及率は83%
一方でルワンダの一般家庭
電気を供給できる設備が
どの程度あるかを示す**電化率は
65%程度**とされています

携帯電話普及率

約83%

一般家庭の電化率

約65%



ええっ!?
普通逆じゃ
ないの!?

3日に1度 キオスクに携帯電話を
充電しに行くのに10キロ歩いて
往復する人もいますよ...

音羽電機工業も
当初は日本での
対策経験で対応が
できと思っていたが
そうではないと
分かったのです

電化率

インフラ

教育

習慣

言語



さらに雷の正体が電気だ
という基本的な科学の
知識が無いため雷の
被害にあうケースもあり
子どもたちの為に

鬼ごっこなどの遊びを通じて雷から
身を守る教育も行っているそうです



鬼ごっこを通じた
木から離れ姿勢を促す訓練

**その地域の特性に
合わせたソリューション
こそがアフリカでの
ビジネスの鍵となる訳で**



音羽電機工業も丁寧に
現地での調査を繰り返し
**本当に必要な支援を
続けているそうです**

ABEイニシアティブで
訪れたアメリさんが
現地で会社を立ち上げ
一緒にルワンダで
ビジネスに成長させ
ようと考えている
そうですよ

雷対策の会社



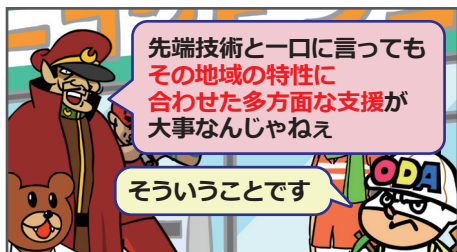
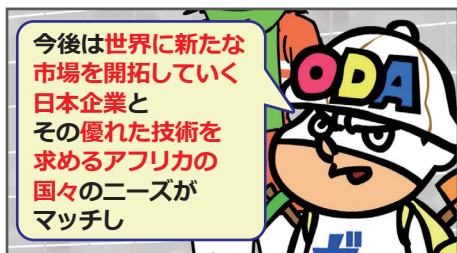
アメリさん



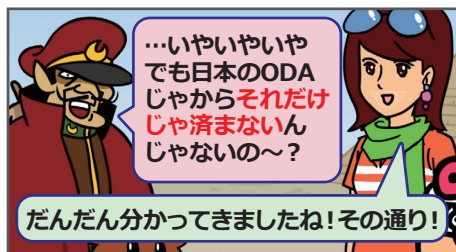
音羽電機工業

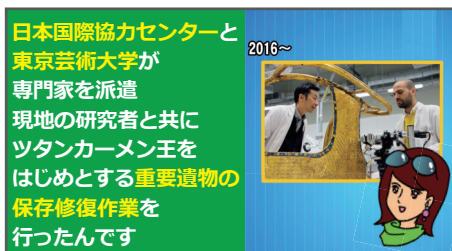
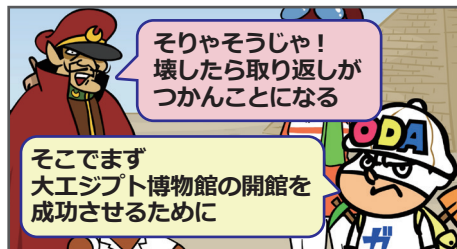
ビジネス

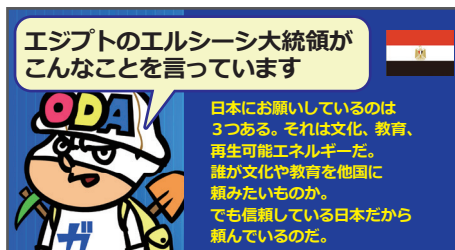
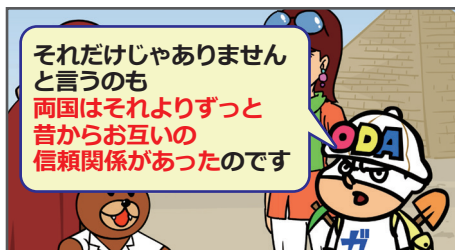
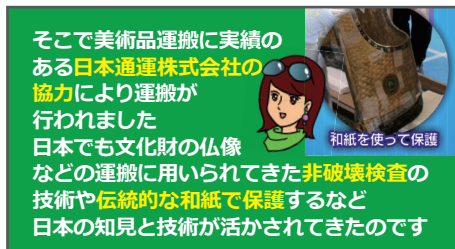
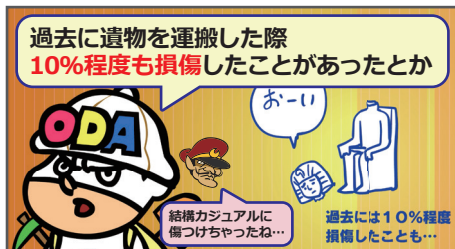
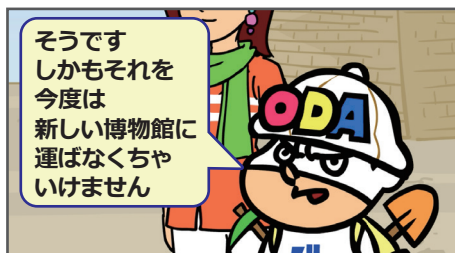
















©DLE



ODA 鷹の爪

検索

鷹の爪団が解説する!
ODA アニメ公開中!



外務省
MOFA Japan